

つるせ西だより



～今月の特集～
鶴瀬西交流センター
フェスティバル

第196号(10月号)2024. 10. 1

編集:鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行:富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

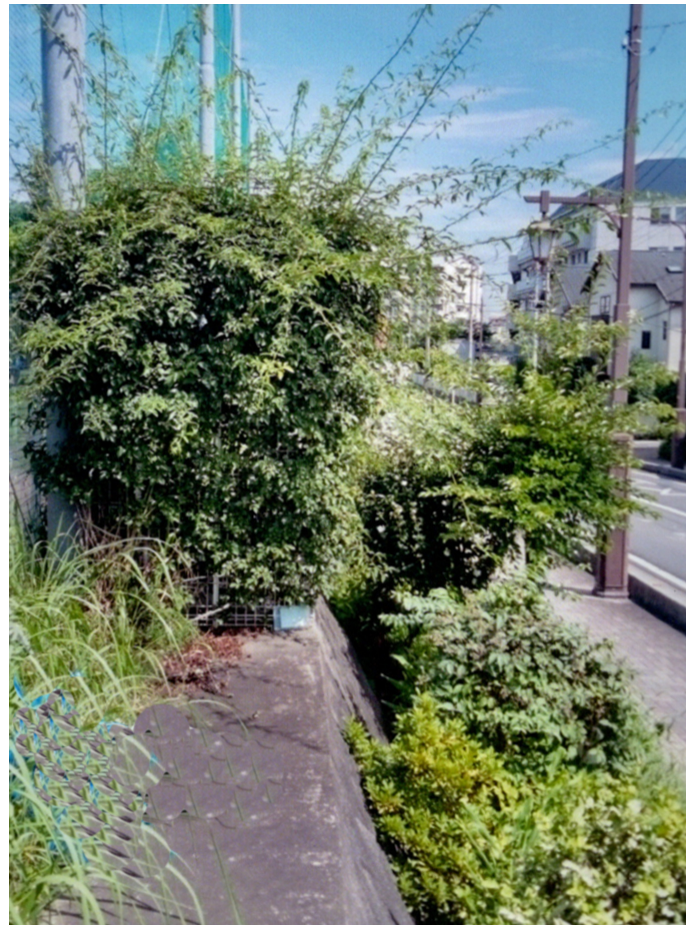
地域の百景 66

熱中症警戒アラートの影響

今年の夏は、世界的に異常気象による災害等のニュースが多かった。年々、異常気象が日常になっていく気がする。気温が体温に近い日が何日も続いた。西交流センターはクーリングシエルトに指定された。こうなると外での活動は本当に厳しくなる。6月の西だよりに、つるせ台小学校の外周のガーデニングで、紫陽花がきれいに手入れされているという記事を載せたが、花が終わるころから異常気象が始まり、活動ができなくなった。昨年は夏休みになってから水まきをする前に、雑草を取ってから水をまいたが、今年は雑草取りも水まきもできなかった。気温が体温に近いと、少しの作業でも気持ちが悪くなる。汗だけでは体温を下げられず、自然に体が警告を発しているのだと感じた。

今年はどこにかく数十年に一度という異常気象が起きている。各地で異常な降水量が観測された。雨による浸食作用は自然なことだが、人間がコントロールできない範囲を超えると災害となる。地下をコントロールすると同時に、地球温暖化を防ぐことが急がれる。

(撮影・文/笠原編集委員)



異常に伸びたバラの木

まちかどウォッチング

生まれ変わる街

節沢、水子村閨沢、ハケ上、本目、丸池、名志久保、下郷、中下郷、富士山、貝戸、権平、渡戸、権平坂、柿ノ沢、上沢前、上沢など。これらの地名は、鶴瀬西交流センターの「つるせ西だより」が配布されている地域内で明治時代からの古い地名であり、現在使われている地名はその後の長い歴史のなかで残ってきたものでしょう。

そして近年になり鶴瀬駅西側の鶴馬地区は区画整理により新しい地名(鶴瀬西一丁目...)になるよううでこれから数百年もたつと地名がどうい風に進化?していくのか興味のあるところです。(萩原)

※文中の小字名は1988年鶴瀬西公民館発行の『鶴瀬西地区のあゆみ』より引用



国道254号方向から
鶴瀬駅方向をのぞむ (1965年)



鶴瀬駅西口方向 (2023年)